

2024（令和6）年度

2日〔**〕

地理歴史（地理A・B共通）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は30ページ、**①**、**②**、**③**、**④**の4題から成っている。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、**解答用紙**に記入すること。
6. すべての解答は、それぞれの解答欄の記号に**マーク**すること。
7. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消す**こと。
8. 解答に関係のない符号（? √など）や文字は記入しないこと。
9. 解答用紙を**折ったり汚したり**しないこと。

1 地図とその活用に関して、以下の問に答えよ。

問1 次の図1の範囲に示されている地理情報として適切でないものを、図1の下の①～④の中から1つ選べ。

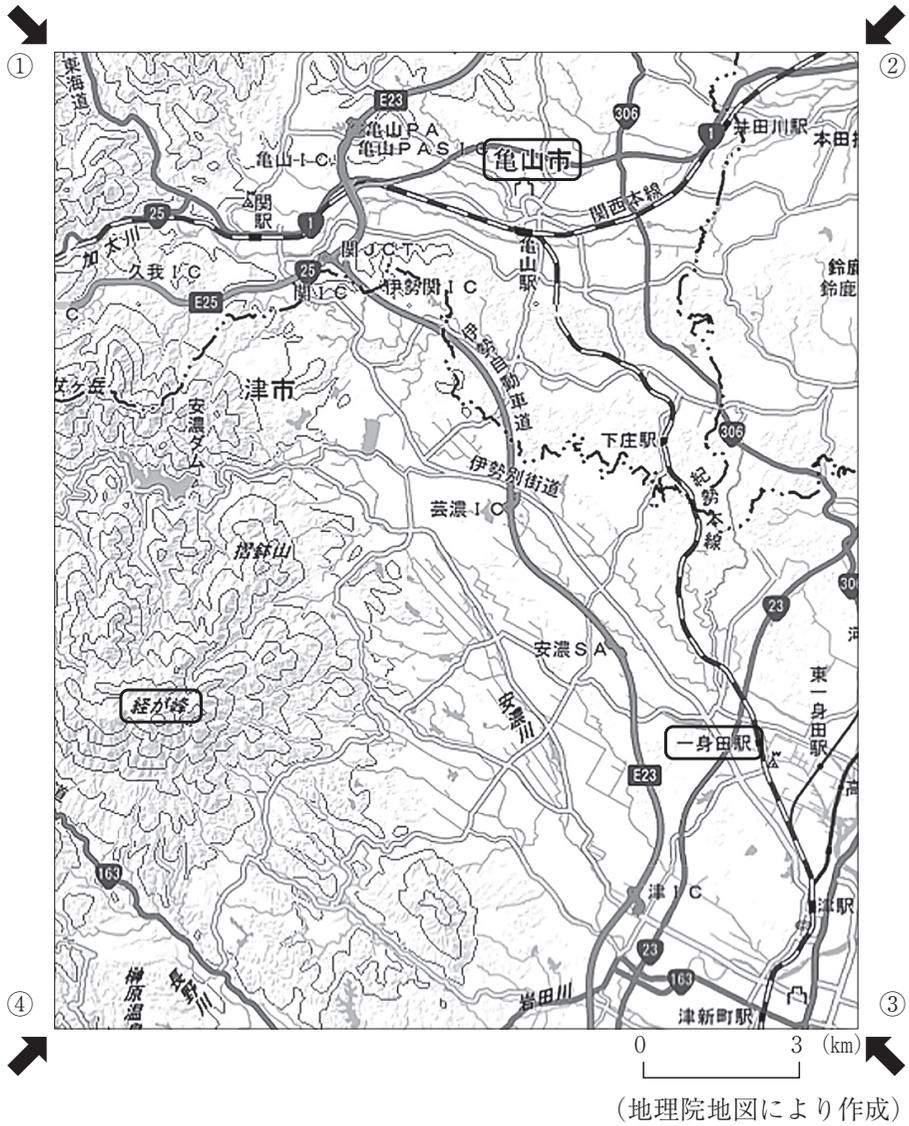
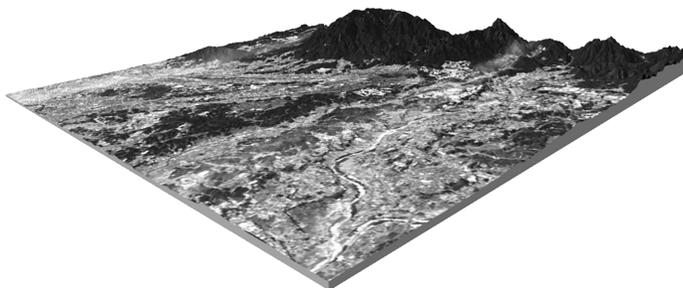


図1

- ① 国道 ② 都府県界 ③ 水域 ④ 等高線

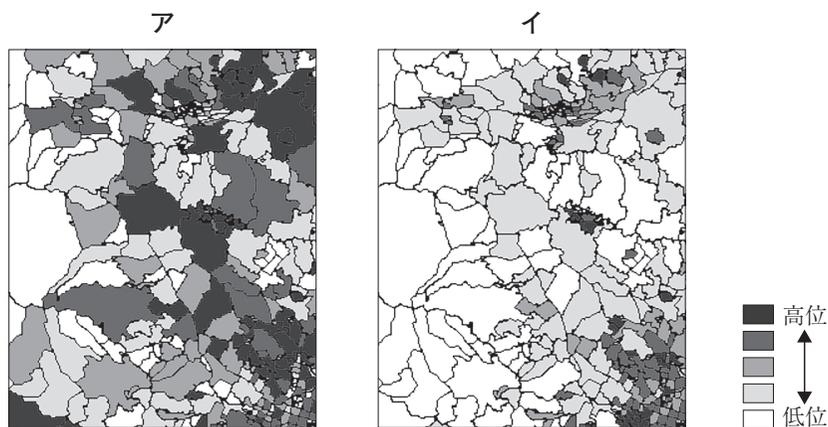
問2 次の図2は、図1の範囲をいずれかの方向から眺めた3D画像である。図2の作成方向として最も適切なものを、図1中の①～④の中から1つ選べ。



(地理院地図により作成)

図2

問3 次の図3中のア・イは、図1の範囲における町丁別の人口または人口密度の分布を示したものである。階級区分図で示すことが適切な指標と、その指標を表現した図の正しい組合せを、下の①～④の中から1つ選べ。



統計年次は2020年（国勢調査結果）。

(jSTAT MAP により作成)

図3

- ① 人口－ア
- ② 人口－イ
- ③ 人口密度－ア
- ④ 人口密度－イ

問4 次の図4は、図1中の「一身田駅」付近の様子を示した標準地図である。

「一身田駅」の東側に広がる市街地について述べた下の文章中の空欄
カ ・ キ にあてはまる語句の正しい組合せを、後の①～④の中
 から1つ選べ。



(地理院地図により作成)

図4

「一身田町」の周囲を囲んで示した実線（——）は カ であり、現在も用水路のような形で町の四周を巡っている。カ の目的は防御であり、このことから、一身田町の起源は キ であると考えることができる。

| | ① | ② | ③ | ④ |
|---|-----|-----|-----|-----|
| カ | 環濠 | 環濠 | 輪中 | 輪中 |
| キ | 宿場町 | 寺内町 | 宿場町 | 寺内町 |

問5 図4の範囲に立地している施設として適切でないものを、次の①～④の中から1つ選べ。

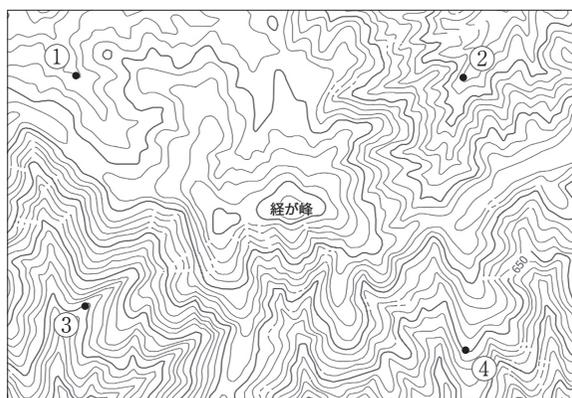
- ① 高等学校 ② 消防署 ③ 電波塔 ④ 老人ホーム

問6 図4中の集落の立地について述べた次の文章中の下線部サとシの正誤について、その正しい組合せを、下の①～④の中から1つ選べ。

「一身田駅」の東側に分布する一身田町の多くの家屋は、水田が広がっている駅の西側よりも標高の高い土地に立地している。西部にみえる「夢が丘」の住宅地は、丘陵地を削って造成された緩斜面に広がっている。

| | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|
| サ | 正 | 正 | 誤 | 誤 |
| シ | 正 | 誤 | 正 | 誤 |

問7 次の図5は、図1中の「経が峰」付近の標高の分布を示したものである。図5中の地点①～④の中から、尾根にあたるものを1つ選べ。

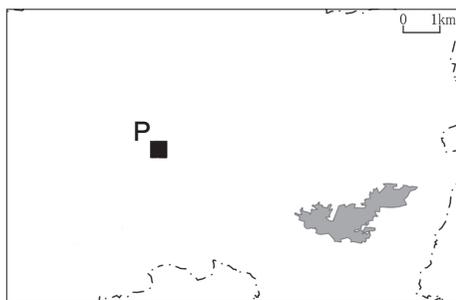


(地理院地図 Vector により作成)

図5

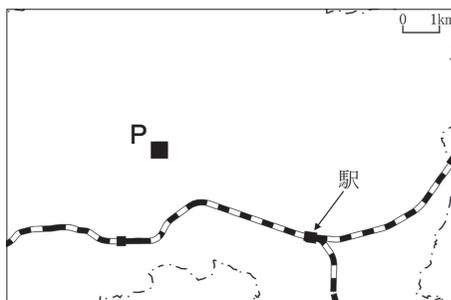
問8 図1中に示した亀山市に整備された工業団地には、電子部品・デバイスなどの工場が立地している。次の図6は、P地点に工業団地が整備されている亀山市付近の地理情報を示したものである。それぞれの地理情報に基づいて、P地点に工業団地が整備された理由を考察した文として適切でないものを、図6中の①～④の中から1つ選べ。

人口集中地区（D I D）の分布



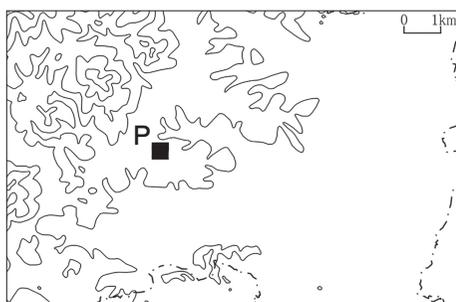
① 広い用地を確保しやすい場所を選んだのだろう。

鉄道の分布



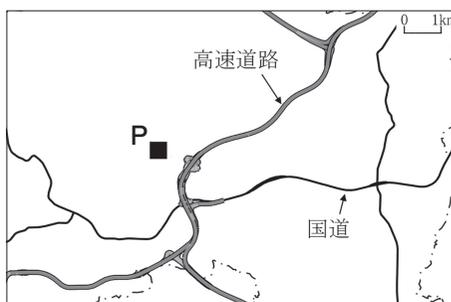
② 就労者が鉄道で通勤しやすい場所を選んだのだろう。

等高線の分布



③ 地盤が強固で、水害の恐れが低い場所を選んだのだろう。

主要道路の分布



④ 部品や製品の輸送の便が良い場所を選んだのだろう。

(地理院地図により作成)

図6

次のページに進みなさい

2 地中海周辺地域の自然環境と暮らしに関して、以下の間に答えよ。

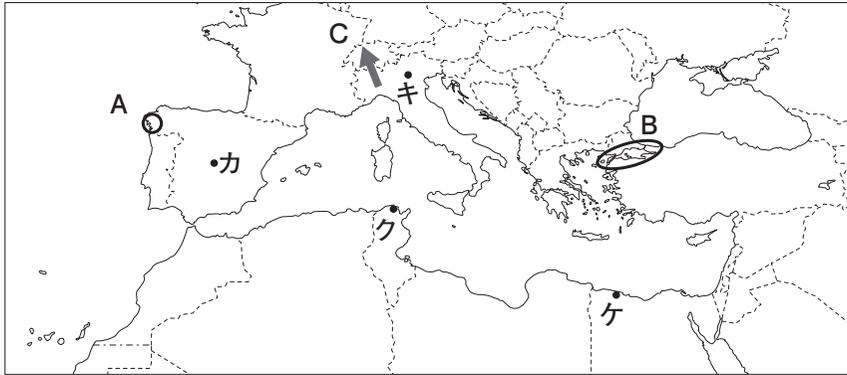


図1

問1 日本において、図1中のAの地域と同様の海岸地形が発達している地域として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 男鹿半島（秋田県） ② 九十九里浜（千葉県）
- ③ 松島湾（宮城県） ④ 室戸岬（高知県）

問2 図1中のBの地域は、国際海峡として国際航行に利用されている。この海域に位置する海峡の名称として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① ジブラルタル海峡 ② ボスポラス海峡
- ③ スカゲラック海峡 ④ メッシナ海峡

問3 図1中に矢印で示したCの地方風について述べた下の文章中の空欄
ア ・ **イ** にあてはまる語句の正しい組合せを、後の①～④の
 中から1つ選べ。

Cは、南からアルプス山脈をこえて吹き下る **ア** を示している。
ア は、もともとは湿潤な気流だが、アルプス山脈をこえる際に
 雨を降らせ、 **イ** な風となる。日本でも、同様の現象がみられ
 る。

| | ① | ② | ③ | ④ |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| ア | フェーン | フェーン | シロッコ | シロッコ |
| イ | 高温・湿潤 | 高温・乾燥 | 低温・湿潤 | 低温・乾燥 |

問4 次の図2は、図1中のカ～ケのいずれかの地点の月平均気温と月降水量を示したものである。カに該当するものを、図2中の①～④の中から1つ選べ。

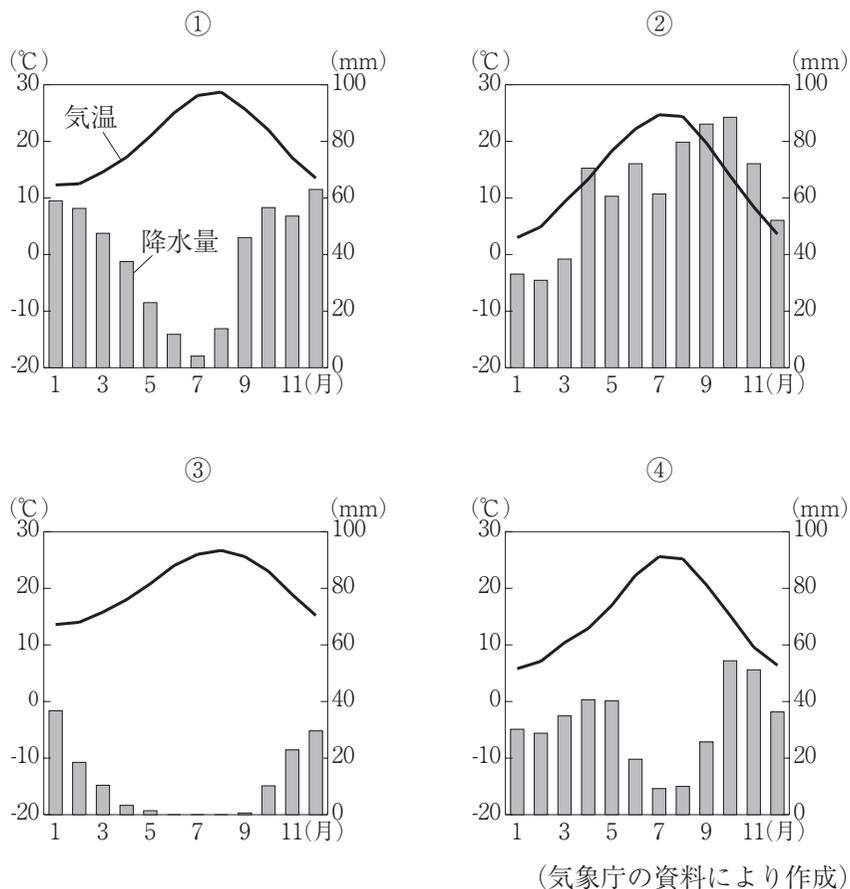


図2

問5 次の表1中のサ～スは、イタリア、エジプト、トルコのいずれかにおける小麦、デーツ、ブドウの生産量を示したものである。国名とサ～スの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

表1

(単位：万トン)

| | 小麦 | デーツ* | ブドウ |
|---|-------|------|-----|
| サ | 900 | 175 | 144 |
| シ | 1,765 | 8 | 367 |
| ス | 729 | — | 815 |

—はデータがないことを示す。*ナツメヤシの実。

統計年次は2021年。

(FAOSTATにより作成)

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|------|---|---|---|---|---|---|
| イタリア | サ | サ | シ | シ | ス | ス |
| エジプト | シ | ス | サ | ス | サ | シ |
| トルコ | ス | シ | ス | サ | シ | サ |

問6 次の表2中のタ～ツは、アルジェリア、スペイン、フランスのいずれかにおける牛、羊、豚の飼育頭数を示したものである。国名とタ～ツの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

表2

(単位：万頭)

| | 牛 | 羊 | 豚 |
|---|-------|-------|-------|
| タ | 1,733 | 699 | 1,294 |
| チ | 658 | 1,508 | 3,445 |
| ツ | 173 | 3,113 | 0 |

統計年次は2021年。

(FAOSTAT により作成)

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|--------|---|---|---|---|---|---|
| アルジェリア | タ | タ | チ | チ | ツ | ツ |
| スペイン | チ | ツ | タ | ツ | タ | チ |
| フランス | ツ | チ | ツ | タ | チ | タ |

問7 次の文J～Lは、世界各地でみられる伝統的な住居の特徴について述べたものである。地中海の北岸地域と南岸地域の特徴にあてはまる文の正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

- J 木材や竹を用いて、床を地面より高くした家が多い。
- K 日干しレンガを多用し、一般に窓や扉は小さい。
- L 主に石材を用い、壁に石灰を塗りつけた家も多い。

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|------|---|---|---|---|---|---|
| 北岸地域 | J | J | K | K | L | L |
| 南岸地域 | K | L | J | L | J | K |

問8 地中海周辺の国々の公用語について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① ギリシャでは、ラテン語派に属する言語が公用語になっている。
- ② チュニジアでは、アフリカ＝アジア（アフロ＝アジア）語族に属する言語が公用語になっている。
- ③ トルコでは、インド＝ヨーロッパ語族に属する言語が公用語になっている。
- ④ フランスでは、ゲルマン語派に属する言語が公用語になっている。

問9 次の表3中のP～Rは、エジプト、スイス、フランスのいずれかの国に到着した外国人観光客の出身地域の割合を示したものである。また、下の図3は、同じ3か国について、外国人観光客の月別の到着者数の割合を示したものである。国名とP～Rの正しい組合せを、後の①～⑥の中から1つ選べ。

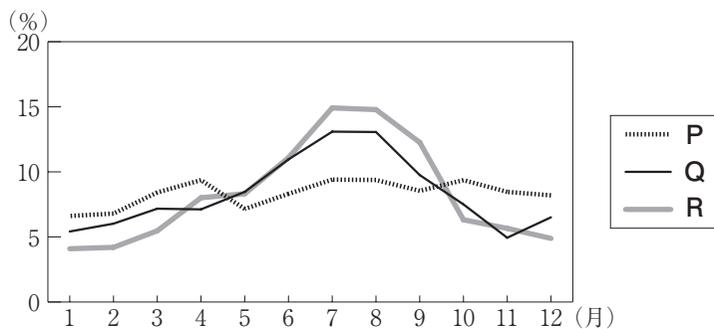
表3

(単位：%)

| | P | Q | R |
|---------|----|----|----|
| アフリカ | 7 | 1 | 4 |
| 南北アメリカ | 4 | 14 | 9 |
| アジア・太平洋 | 5 | 29 | 6 |
| ヨーロッパ | 65 | 57 | 80 |
| 中東 | 19 | — | 1 |

統計年次は2019年。

(UNWTOの資料により作成)



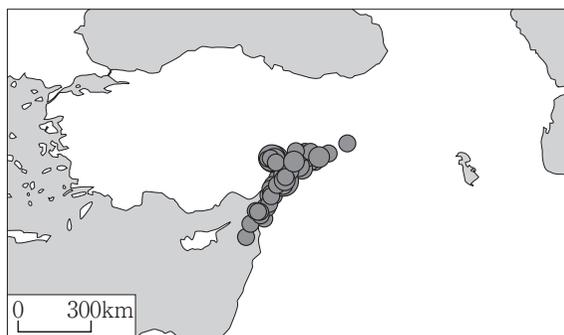
統計年次は2019年。

(UNWTOの資料により作成)

図3

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|------|---|---|---|---|---|---|
| エジプト | P | P | Q | Q | R | R |
| スイス | Q | R | P | R | P | Q |
| フランス | R | Q | R | P | Q | P |

問10 次の図4に示したトルコ南部では、2023年2月6日未明にマグニチュード7.8の大地震が発生し、トルコやシリアに甚大な被害をもたらした。図4中の丸印は、2月6日午前0時から48時間以内に発生したマグニチュード4.5以上の地震の震央と規模を示している。この地震について述べた下の文章中の空欄 **ナ** にあてはまる文W・Xと、空欄 **ニ** にあてはまる文Y・Zの正しい組合せを、下の①～④の中から1つ選べ。



(USGSの資料により作成)

図4

トルコ・シリア大地震は、 **ナ** 引き起こされたと考えられている。周辺地域で建物の耐震化が遅れていたことに加え、 **ニ** ことで被害が拡大した。

<ナにあてはまる文>

W プレートの沈み込みに伴って

X 活断層がずれ動いて

<ニにあてはまる文>

Y トルコでは同国最大の都市が近接していた

Z シリアでは内戦が続いていた

| | ① | ② | ③ | ④ |
|---|---|---|---|---|
| ナ | W | W | X | X |
| ニ | Y | Z | Y | Z |

3 中国に関して、以下の問に答えよ。

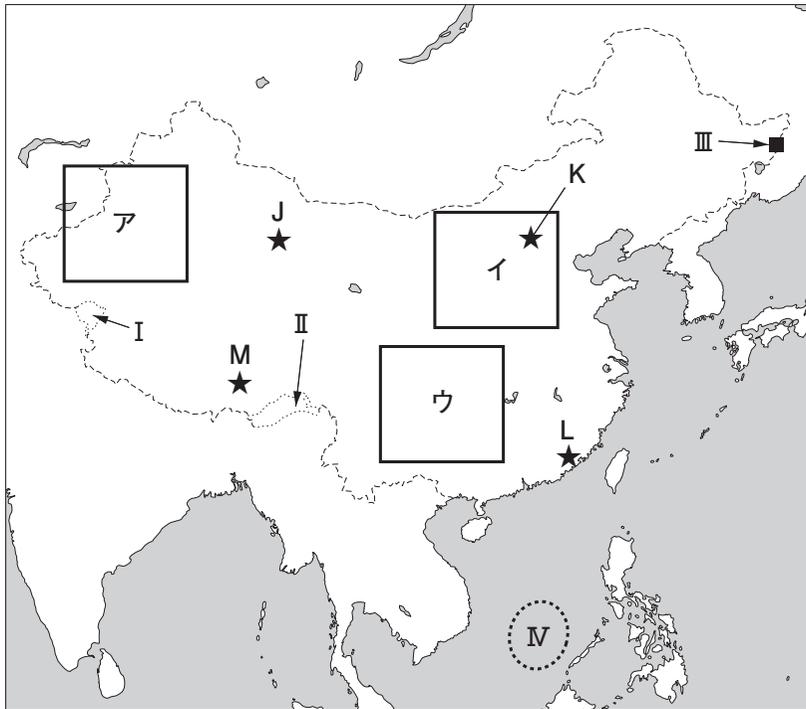
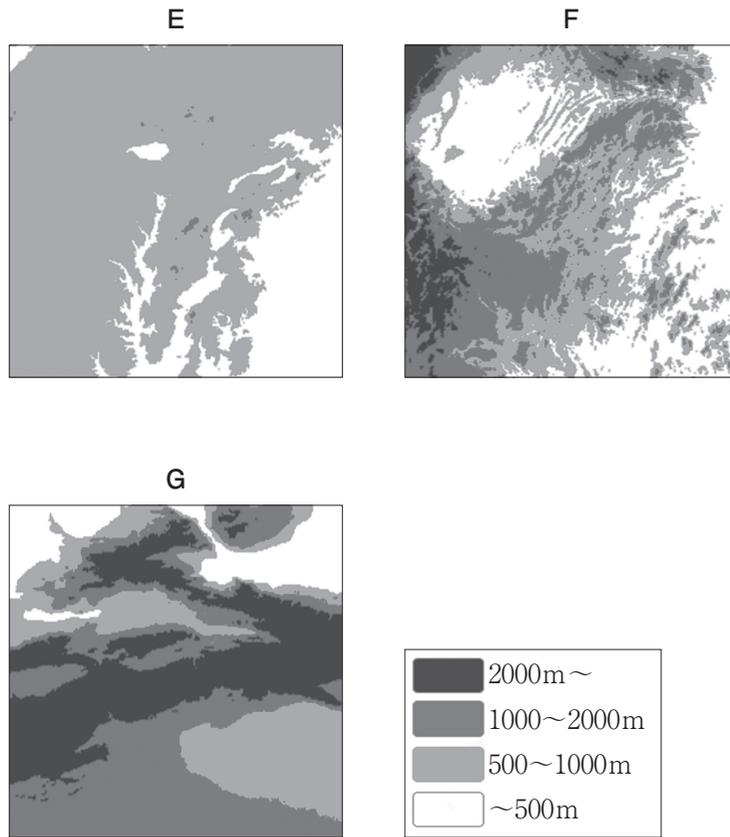


図1

問1 図1中のⅠ～Ⅳの地域について述べた文として下線部が最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① Ⅰは、カラコルム山脈の北東側の地域を指しており、パキスタンと領有権をめぐる対立している。
- ② Ⅱは、ヒマラヤ山脈の南側斜面に広がる地域を指しており、バングラデシュと領有権をめぐる対立している。
- ③ Ⅲは、アムール川支流の中州を指しており、かつてソビエト連邦と領有権をめぐる軍事衝突した。
- ④ Ⅳは、南シナ海に分布する島嶼を指しており、インドネシアやフィリピンなどと領有権をめぐる対立している。

問2 次の図2中のE～Gは、図1中のア～ウのいずれかの地域の標高の分布を示したものである。ア～ウとE～Gの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。



(地理院地図により作成)

図2

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ア | E | E | F | F | G | G |
| イ | F | G | E | G | E | F |
| ウ | G | F | G | E | F | E |

問3 図1中のJ～Mは、世界遺産に登録されている地点や地域の一部を示したものであり、次の文は、J～Mのいずれかの世界遺産について述べたものである。Jに該当するものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 異民族の侵入を防ぐために、紀元前8世紀頃から建設が始まった防壁であるが、現存する箇所は大部分が16世紀に修築されたものである。
- ② 仏教が中国に伝来したシルクロードの要衝で、断崖に掘られた石窟の内部には仏像や壁画が現存する。
- ③ 華北から移住した客家^{ハッカ}と呼ばれる漢族が建設した円形の大型住居で、多くの家族が共同生活を送っている。
- ④ チベット仏教の最高指導者であるダライ＝ラマの宮殿で、巡礼者が五体投地を繰り返す聖地などとともに文化遺産に登録されている。

問4 中国には、漢民族以外にもさまざまな少数民族が暮らしている。次の図3は、中国における主な少数民族の居住地域を示したものである。ウイグル族の居住地域を、図3中の①～④の中から1つ選べ。

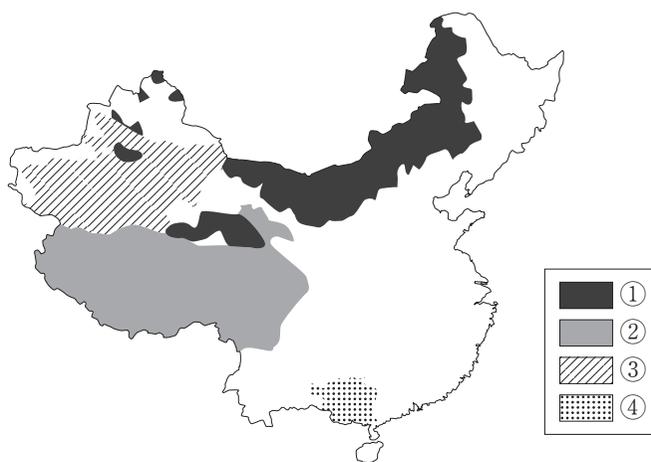
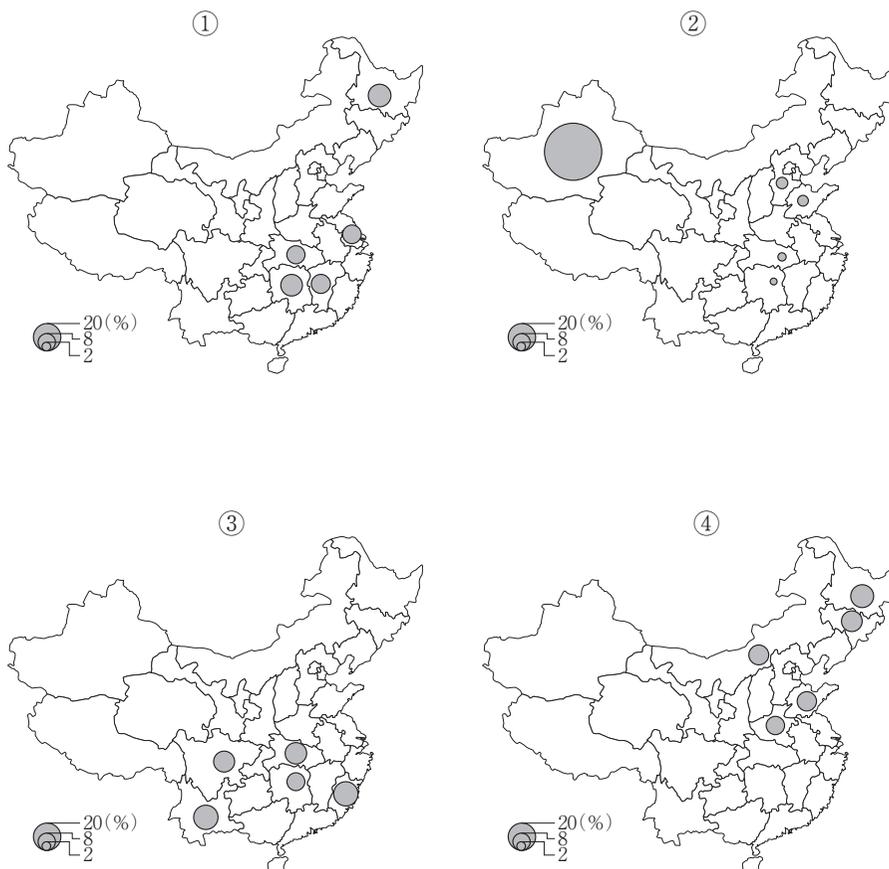


図3

問5 次の図4は、米、茶、トウモロコシ、綿花のいずれかの生産量が多い5つの省・自治区・直轄市と全国計に占める割合を示したものである。米に該当するものを、図4中の①～④の中から1つ選べ。



統計年次は2020年。

(『データブック オブ・ザ・ワールド2023年版』により作成)

図4

問6 中国では、1970年代末に对外开放政策がはじまったことを契機として、本格的な工業化が開始された。経済特区が設けられた省として適切でないものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① コワントン（広東）省 ② スーチョワン（四川）省
③ ハイナン（海南）省 ④ フーチエン（福建）省

問7 次の図5は、中国にある4つの直轄市の位置を示したものであり、下の文P～Sは、いずれかの都市について述べたものである。Pに該当する都市を、図5中の①～④の中から1つ選べ。

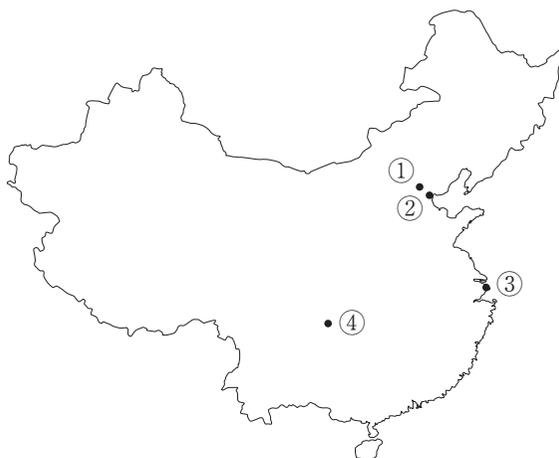


図5

- P 古来、多くの王朝が都を置いてきた都市で、碁盤目状の計画的な街路網が特徴的である。
- Q 近隣で石油を産出し、重化学工業が発達している都市で、首都の外港としても機能している。
- R 1997年に昇格した直轄市で、行政区域の面積は4つの直轄市の中で最も広い。
- S 19世紀半ばに開港されて以降、ヨーロッパ諸国の中国進出の拠点となり、現在も中国最大の港湾がある。

問 8 2019年時点のアメリカ合衆国と中国の社会・経済の状態について述べた文として**適切でないもの**を、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① 両国ともに、人口密度の高い地域は国土の東部に偏って分布している。
- ② 両国ともに、女性の人口が男性の人口を上回っている。
- ③ 国民総所得（GNI）、人口1人当たりGNIともにアメリカ合衆国が中国を上回っている。
- ④ 自動車の生産台数、販売台数ともに中国がアメリカ合衆国を上回っている。

問 9 次の表1は、アメリカ合衆国と中国の水資源に関する指標を指数*で示したものであり、①～④は、平均年降水量、農業用水の取水量、工業用水の取水量、1人当たり総取水量のいずれかである。1人当たり総取水量に該当するものを、表1中の①～④の中から1つ選べ。

*アメリカ合衆国の値を100とする。

表 1

| | 中 国 | アメリカ合衆国 |
|---|-----|---------|
| ① | 90 | 100 |
| ② | 30 | 100 |
| ③ | 209 | 100 |
| ④ | 58 | 100 |

統計年次は2019年。

(AQUASTAT により作成)

問10 次の表2は、アメリカ合衆国と中国における1人1日当たり食料供給量を示したものであり、W～Zは、牛乳・乳製品、穀物、水産物、野菜のいずれかである。Yに該当するものを、下の①～④の中から1つ選べ。

表2

(単位：g)

| | アメリカ合衆国 | 中 国 |
|----------|---------|-------|
| W | 633 | 64 |
| 肉 類 | 353 | 184 |
| X | 301 | 557 |
| Y | 294 | 1,060 |
| いも類 | 145 | 188 |
| Z | 61 | 140 |

統計年次は2019年。

(『世界国勢図会 2022/23年版』により作成)

- ① 牛乳・乳製品
- ② 穀物
- ③ 水産物
- ④ 野菜

次のページに進みなさい

4 現代世界における交通・通信の発達と国際化の進展に関して、以下の問に答えよ。

問1 次の表1中の**A**～**C**は、アメリカ合衆国、インド、日本のいずれかの鉄道輸送量を示したものである。国名と**A**～**C**の正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

表1

| | A | B | C |
|-----------|----------|----------|----------|
| 旅客（億人km） | 4,351 | 11,613 | 320 |
| 貨物（億t.km） | 200 | 6,543 | 23,641 |

統計年次は、インドが2017年、アメリカ合衆国の旅客が2018年、その他が2019年。

（『世界国勢図会 2022/23年版』により作成）

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| アメリカ合衆国 | A | A | B | B | C | C |
| インド | B | C | A | C | A | B |
| 日本 | C | B | C | A | B | A |

問2 次の表2は、2008年と2019年の乗降旅客数が多い空港が所在する都市*とその乗降旅客数を示したものであり、D～Fは、アトランタ、ドバイ、パリのいずれかである。都市名とD～Fの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

*近隣の大都市を含む。

表2

(単位：万人)

| 2008年 | | 2019年 | |
|------------|---------------|--------------|---------------|
| 国際・国内乗降旅客数 | 国際乗降旅客数 | 国際・国内乗降旅客数 | 国際乗降旅客数 |
| D 9,004 | ロンドン 6,135 | D 11,053 | F 8,633 |
| シカゴ 6,935 | E 5,583 | ペキン 10,001 | ロンドン 7,604 |
| ロンドン 6,706 | アムステルダム 4,735 | ロサンゼルス 8,807 | アムステルダム 7,168 |
| 東京 6,676 | 香港 4,714 | F 8,640 | 香港 7,129 |
| E 6,088 | フランクフルト 4,671 | 東京 8,551 | ソウル 7,058 |

(『世界国勢図会 2010/11年版』、『世界国勢図会 2022/23年版』により作成)

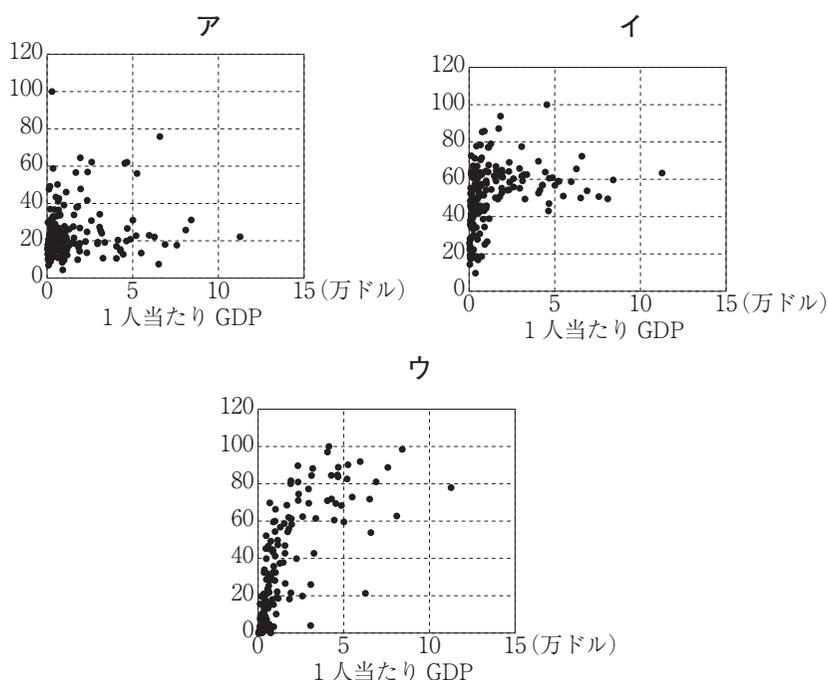
| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|---|---|---|---|---|---|
| アトランタ | D | D | E | E | F | F |
| ドバイ | E | F | D | F | D | E |
| パリ | F | E | F | D | E | D |

問3 次の図1中のア～ウは、主な国の1人当たり国内総生産（GDP）と、携帯電話の契約率*、固定ブロードバンドの契約率*、貿易依存度**のいずれかとの関係を指数***で示したものである。指標とア～ウの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

*人口100人当たりの契約数。

**国内総生産に対する貿易額（輸出額と輸入額の合計）の比率。

***最大値をとる国の値を100とする。



統計年次は2019年。

(World Development Indicators の資料により作成)

図1

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 携帯電話の契約率 | ア | ア | イ | イ | ウ | ウ |
| 固定ブロードバンドの契約率 | イ | ウ | ア | ウ | ア | イ |
| 貿易依存度 | ウ | イ | ウ | ア | イ | ア |

問4 国際的な通信網の整備が進んだことが一因となり、1990年代以降のインドでは、主にアメリカ合衆国の企業から業務委託を受けながらソフトウェア産業が成長した。インドでソフトウェア産業が発展した他の要因について述べた文として**適切でないもの**を、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① インドでは、理数系教育に注力してきたため、産業に適した人材を確保しやすい。
- ② インドでは、旧宗主国の言語である英語が普及しており、アメリカ合衆国の企業とコミュニケーションをとりやすい。
- ③ インドでは、輸出指向型工業を推進するために、アメリカ合衆国との貿易に関して関税を撤廃した。
- ④ インドは、アメリカ合衆国と昼夜が逆転する位置関係にあり、業務を連続的に引き継ぎやすい。

問5 ヨーロッパに本社を置く航空機メーカーは、各国の工場で生産された部品を用いて航空機を組み立てている。航空機の最終組み立てが行われる工場が所在する都市として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① トゥールーズ（フランス） ② トリノ（イタリア）
- ③ バーミンガム（イギリス） ④ ミュンヘン（ドイツ）

問6 次の表3は、日本の自動車メーカーの海外生産台数の推移を示したものであり、①～④は、アジア、北アメリカ、中南アメリカ、ヨーロッパのいずれかである。北アメリカに該当するものを、表3中の①～④の中から1つ選べ。

表3

(単位：千台)

| | 1990年 | 2000年 | 2010年 | 2020年 |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ① | 1,570 | 2,992 | 3,390 | 3,499 |
| ② | 952 | 1,674 | 7,127 | 9,169 |
| ③ | 227 | 953 | 1,356 | 1,237 |
| ④ | 161 | 388 | 982 | 1,319 |

中南アメリカにはメキシコを含む。ヨーロッパにはトルコを含む。
 (『日本国勢図会 2022/23年版』により作成)

問7 次の図2は、東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアのいずれかにおける、国内総生産（GDP）に対する対内直接投資*の割合の推移を示したものである。対内直接投資とは、海外の企業から受ける投資額のこと、たとえば先進国などが新興国に工場を建設するなどの投資は、新興国の対内直接投資となる。東南アジアに該当するものを、図2中の①～④の中から1つ選べ。

*各年の流出入量。投資の引き揚げによりマイナスになることがある。

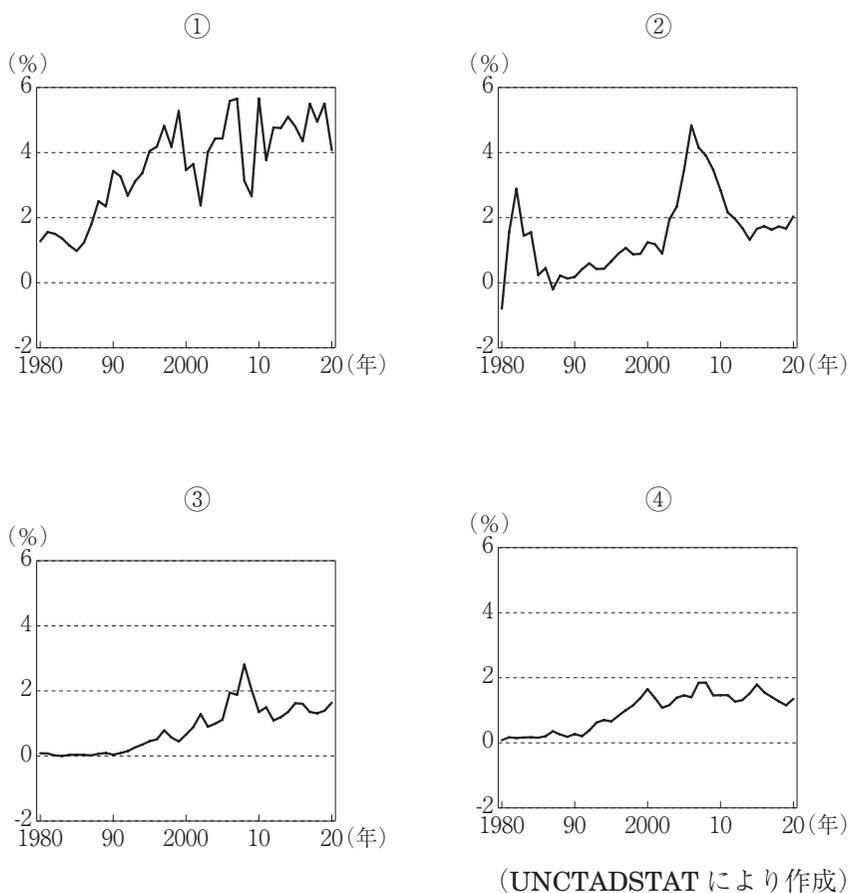


図2

問8 次の表4は、いくつかの経済圏の間の輸出入の状況を示したものであり、カ～クは、EU（ヨーロッパ連合）、RCEP（地域的な包括的経済連携）、USMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）のいずれかである。経済圏とカ～クの正しい組合せを、下の①～⑥の中から1つ選べ。

表4 (単位：億ドル)

| | | 輸 入 | | |
|--------|---|--------|--------|--------|
| | | カ | キ | ク |
| 輸 出 | カ | 13,825 | 3,171 | 4,865 |
| | キ | 5,610 | 40,398 | 5,393 |
| | ク | 12,684 | 8,181 | 26,983 |

統計年次は2021年。

(JETRO の資料により作成)

| | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|-------|---|---|---|---|---|---|
| EU | カ | カ | キ | キ | ク | ク |
| RCEP | キ | ク | カ | ク | カ | キ |
| USMCA | ク | キ | ク | カ | キ | カ |

問9 2022年末現在、日本では、多くの国・地域と経済連携協定（EPA）を締結してきた。その先駆けとして、2002年および2005年に日本とのEPAが発効した相手国の正しい組合せを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① オーストラリア・韓国 ② オーストラリア・メキシコ
 ③ シンガポール・韓国 ④ シンガポール・メキシコ

問10 現代、国際的に活発化している人の移動について述べた文として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

- ① アラブ首長国連邦では、1970年代以降、南アジアなどから国民の人口を上回る数の出稼ぎ労働者が流入してきた。
- ② イギリスでは、2010年代になって、ラテンアメリカから就労を目的とするヒスパニックの流入が急増した。
- ③ オーストラリアでは、1970年代以降、東ヨーロッパから永住を目的とする移民が急増した。
- ④ 日本では、2010年代になって、シリアを含む中東地域から難民の流入が急増した。

| | | |
|---|-----|---------|
| 1 | 問 1 | ① ● ③ ④ |
| | 問 2 | ① ● ③ ④ |
| | 問 3 | ① ② ③ ● |
| | 問 4 | ① ● ③ ④ |
| | 問 5 | ① ● ③ ④ |
| | 問 6 | ① ② ● ④ |
| | 問 7 | ① ② ③ ● |
| | 問 8 | ① ● ③ ④ |

20点

| | | |
|---|------|-------------|
| 2 | 問 1 | ① ② ● ④ |
| | 問 2 | ① ● ③ ④ |
| | 問 3 | ① ● ③ ④ |
| | 問 4 | ① ② ③ ● |
| | 問 5 | ① ② ③ ④ ● ⑥ |
| | 問 6 | ① ② ③ ④ ⑤ ● |
| | 問 7 | ① ② ③ ④ ⑤ ● |
| | 問 8 | ① ● ③ ④ |
| | 問 9 | ● ② ③ ④ ⑤ ⑥ |
| | 問 10 | ① ② ③ ● |

27点

| | | |
|---|------|-------------|
| 3 | 問 1 | ① ② ● ④ |
| | 問 2 | ① ② ③ ④ ● ⑥ |
| | 問 3 | ① ● ③ ④ |
| | 問 4 | ① ② ● ④ |
| | 問 5 | ● ② ③ ④ |
| | 問 6 | ① ● ③ ④ |
| | 問 7 | ● ② ③ ④ |
| | 問 8 | ① ● ③ ④ |
| | 問 9 | ① ● ③ ④ |
| | 問 10 | ① ② ③ ● |

27点

| | | |
|---|------|-------------|
| 4 | 問 1 | ① ② ③ ④ ⑤ ● |
| | 問 2 | ① ● ③ ④ ⑤ ⑥ |
| | 問 3 | ① ② ③ ● ⑤ ⑥ |
| | 問 4 | ① ② ● ④ |
| | 問 5 | ● ② ③ ④ |
| | 問 6 | ● ② ③ ④ |
| | 問 7 | ● ② ③ ④ |
| | 問 8 | ① ② ③ ● ⑤ ⑥ |
| | 問 9 | ① ② ③ ● |
| | 問 10 | ● ② ③ ④ |

26点